

7月6日（木）、6年2組で国語科の努力点公開授業が行われました。

単元は「立場を決めて、主張を明確にしよう」です。授業では、「教科書はタブレットに代わるべきか」というテーマで、話し合いをしました。その中で、相手の考えを受け入れて、自分の考えを広げられるようにすることが授業のめあてです。児童は今回の話し合いに向けて、教科書とタブレットのメリットとデメリットについて調べ、どちらがよいか立場を決めました。

初めに、話し合いの際に気を付けることを確認しました。

- 相手の意見を否定しない
- 人の話に反応を示す
- 論点がずれないようにする

「教科書」「どちらかといえば教科書」の立場の児童が多く、「タブレット」の立場の児童は少しかったです。



【立場に分かれた後の座席】

いよいよ話し合いです。話し合いの際に、友達の意見を自分で要約し、一言で表してプリントにメモをさせます。そうすることで、児童は友達の意見を最後まで、考えながら聞くようになります。「教科書」の立場の児童からは、「視力の低下」「健康に悪い」といった意見が出ました。「タブレット」の立場の児童からは、「教科書が多く、ランドセルが重い」「（持ち物が一つにまとまるので）忘れ物が減る」といった意見が出ました。



【意見を言う児童の様子】

話し合いの最中でも、同じ立場の友達と相談をする姿が見られました。このように、近くの席に同じ立場の友達がいることで、安心して自分の意見を言うことができます。他にも、事前にプリントに意見を書いておいたり、相手の質問に対する答えを用意しておいたりすることで、自信をもって話すことができます。

最後に、話し合いで出された考えの中で、特に納得できた考えを選びました。このようにして、自分の考えと関係付けて考えを広げることができました。そして、近くの友達に、自分の考えを伝えました。話し合いで話せなかった児童も、近くの友達に自分の考えを伝えることができました。



【友達に意見を伝える様子】

話し合いの中で、「『〇〇』の立場の人の意見も聞きたいです」という発言がありました。まさに、相手の意見を受け止めようとしています。また、「同じ立場のみんなにも考えてほしいことがあります」と言ったり、相手の立場のメリットについて考えたりする児童もいました。このような、一つのテーマに対して多面的に考えようとする態度から、児童の話す・聞く力が育ってきていることを実感することができました。